

第4期の現況分析における評価方法について

教育

- 教育の現況分析においては、「優れた点」等の特記事項、教育活動に関するデータに基づく加点・減点の要素を踏まえて、総合的に判断。

判定区分表

判定を示す記述
特筆すべき高い質にある
高い質にある
相応の質にある
質の向上が求められる

【加点の要素】

- ・優れた点、特色ある点※1
- ・教育活動に関するデータにおいて優れた実績※2

【減点の要素】

- ・改善を要する点
- ・教育活動に関するデータにおいて改善を要する状況※2

- ※1 各学部・研究科等の目的や特徴、特色等に即して、優れた取組及び特徴的な取組、並びにそれらの成果が認められる場合には、その内容に応じて「優れた点」や「特色ある点」として抽出（合計2個まで）。
- ※2 教育活動に関するデータには、現況分析基本データ（教育に関する12指標）及び政府公表データ（国家試験の合格率等）の2種類がある。これらの指標については、同じ学系内における他の学部・研究科等の比較、当該学部・研究科等の経年変化等を分析した結果、加点又は減点の要素になり得る。

研究

- 研究の現況分析においては、研究業績水準判定結果を重要な判断材料とし、「優れた点」等の特記事項、研究活動に関するデータに基づく加点又は減点の要素を勘案して、総合的に判断。

判定区分表

判定を示す記述
特筆すべき高い質にある
高い質にある
相応の質にある
質の向上が求められる

研究業績水準判定の結果



【加点の要素】

- ・優れた点、特色ある点※1
- ・研究活動に関するデータにおいて優れた実績※2

【減点の要素】

- ・改善を要する点
- ・研究活動に関するデータにおいて改善を要する状況※2

- ※1 各研究組織の目的や特徴、特色等に即して、優れた取組及び特徴的な取組、並びにそれらの成果が認められる場合には、その内容に応じて「優れた点」や「特色ある点」として抽出（合計2個まで）。
- ※2 研究活動に関するデータには、現況分析基本データ（研究に関する16指標）及び研究活動状況に関する資料（論文数等のデータ）の2種類がある。これらの指標については、同じ学系内における他の研究組織の比較、当該研究組織の経年変化等を分析した結果、加点又は減点の要素になり得る。